

未来を拓き、豊かな学びで学校文化を創造する

# 埼玉教育

第2号

令和2年7月  
No.804



「3年生 道徳 卒業文集最後の二行」

上尾市立上尾中学校(現 大石南中学校) やまだ 山田 ともこ 智子教諭

特集 | 豊かな心と健やかな体の育成に向けた教育実践



コバトン

埼玉県立総合教育センター



さいたまっち



# 心に残る言葉を成長の糧に



県立春日部工業高等学校 教諭 小池 雅彦

## 1 はじめに

「保健体育科の教員は、授業はできて当たり前。部活動でどれだけ良い指導ができるかが大切」

これは30年以上前、新任研修会で講師から聞いた言葉だが、私はこのことをずっと念頭において、今日まで授業も部活動も指導してきた。以下に、これまでの勤務校ごとに自身の取組を振り返る。

## 2 庄和高校時代 (22歳～26歳)

初任の庄和高校では、自分が若かったこともあって毎日が無我夢中であった。部活動(柔道部)の朝トレーニングも生徒と一緒に走り、練習メニューも全部一緒にこなし、授業が長距離走のための走り込みの時は、毎授業で生徒と一緒に走っていた。私は生徒と一緒にやるのは当たり前と思っていた。

柔道部の練習も今考えればめっちゃくちゃもいいところだったが、自分(顧問)が先頭に立って練習していたため、生徒たちはついてくるしかなかった。その時の生徒たちが今でも現任校に練習に来てくれていることには、ただただ感謝である。

## 3 上尾東高校時代 (26歳～37歳)

2校目の上尾東高校では、生徒を指導する際には直球だけではダメで、時には変化球をまぜて指導することを学んだ。例えば反抗的な態度の生徒に「なんだその態度は!」と頭ごなしには言わずに「どうしたどうした、まずはあなたの言い分を聞こうじゃないか」と笑顔で話すなど、いろいろと工夫するようになった。

また国語のベテラン先輩教師からは「自分が使われたら不愉快な言葉は、絶対に生徒には使わない」という言葉をいただいた。さらに私よりも7歳若い先生からは「生徒のハートをつかむ」という言葉も教わった。確かに上から目線で頭ごなしに生徒にものを言ったところで、生徒の心に届くはずがない。いろいろなアプローチをしていったん生徒のハートをつかんでしまえば「信頼する先生が言うのだから言うことをきこう」となってくる。この二つの言葉は、ベテラン教員となった今でも、私の大きな財産になっている。

部活動では、庄和高校着任以来、どんなに気合いを入れて練習をしても、日曜日は必ず練習を休みにしてきた。日曜日に練習をすればさらに強くなるかも知れないが、逆に疲労が蓄積してケガをして、柔道が嫌い

になってしまうかも知れない。柔道を嫌いにさせないためにも「日曜日は練習は休み」を信念として私は指導している。そして上尾東高校では、平成7年に男子団体戦でついに関東大会初出場を果たした。この時は生徒も私も嬉しすぎて失神しそうなくらい歓喜に包まれたことを、今でもよく覚えている。

## 4 幸手高校時代 (37歳～45歳)

3校目の幸手高校では、中堅教員となって赴任したので、校務のいろいろなものがよく見えたこともあり、先頭に立ったりサポート役にまわったりと、いろいろな立場で仕事をした。

部活動では、男女個人戦でそれぞれ県のチャンピオンが生まれた。男子は中学時代の全国チャンピオンに勝ってインターハイ出場を果たし、女子は中学時代の関東チャンピオンに勝って関東大会出場を果たした(結果は関東8強)。この2人の生徒たちは中学校時代は無名中の無名だったが、本当によく頑張って練習して県のチャンピオンになったなと思っている。

## 5 春日部工業高校時代 (45歳～)

4校目の春日部工業高校では、3年間の担任の後に生徒指導部主任、生徒会主任、学年主任を経験させていただいた。その間に、ある程度の主任クラスになったら、誰とでも敵対的にならずに、友好的に物事を進めなければならないということを学んだ。若い頃は職員会議で言いたいことを迷わず発言したこともあったが、今はまず、どうすれば全体がうまくまとまるかを考えるようになっている。

部活動では週5日制が導入されたことを受けて、今までの日曜日に加えて木曜日も休みとした。生徒たちからは「試合で勝てなくなる」などの反対意見もあったが「決まりは守ろう。柔道場は使ってもいいんだから自主的に練習したい人はすればいい」と話して生徒たちの様子を見守った。結果的には男子団体戦で関東大会に4回出場を果たし、週5日制導入後も、創部初の団体戦県4強に2回進出している。

## 6 結びに

今までの取組を振り返ると、多くの先生方と生徒たちのおかげで今があることがよく分かる。これからはさらに自己研鑽を重ね、今までの経験と蓄積を生かして、より良い指導を目指していきたいと思う。



「ひまわりいっぱい  
ひまわりこうえんでかくれんぼ」

蓮田市立黒浜小学校 3年 折原 伸弥

おりはら しんや



令和元年度

「夢ネット子供ギャラリー」作品

※学年は作品出品時(令和元年度)のものです



「コンビニと僕の町」

蕨市立第二中学校 3年 岩本 翔瑛

いわもと しょうえい



彩の国  
埼玉県

埼玉教育 第74巻 第2号 (第804号)

編集・発行 埼玉県立総合教育センター

代 表 所長 石川 薫

〒361-0021 埼玉県行田市富士見町2-24 TEL 048-556-6164(代)

印 刷 株式会社タカミ企画 埼玉県川口市道合67-1 タカミ流通センター2F

センターHPアドレス

<https://www.center.spec.ed.jp/>